



令和6年1月うぶやま天文台星空情報

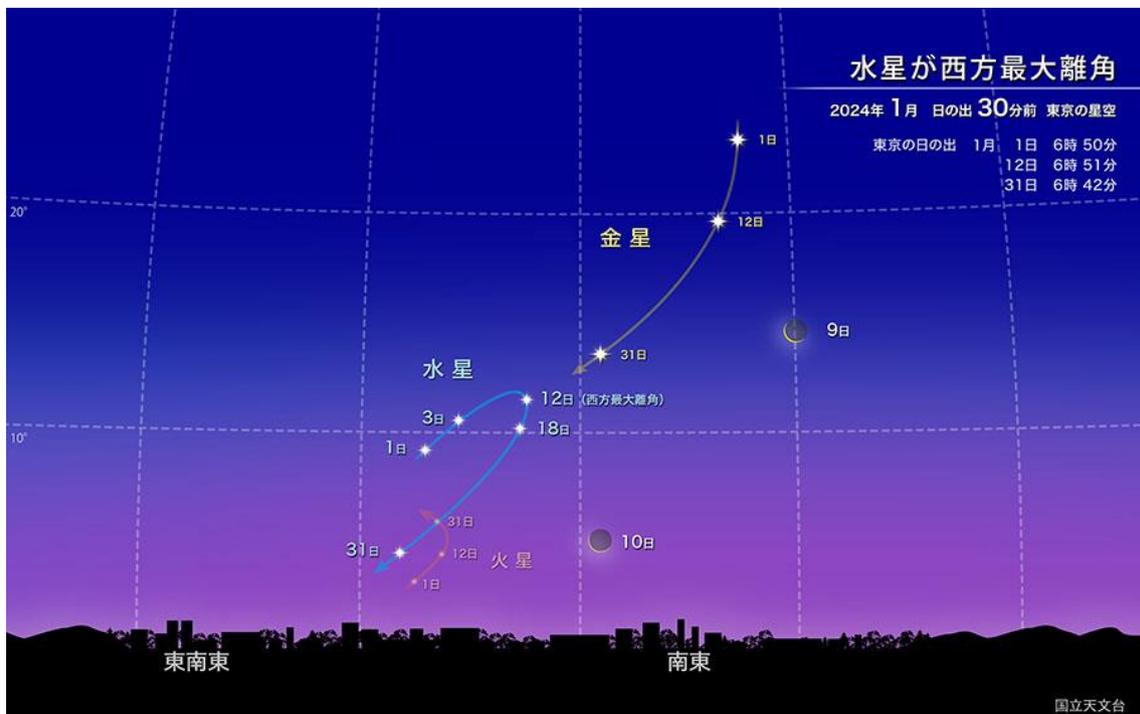


水星が西方最大離角

令和6年1月の星空情報は、1月12日に西方最大離角を迎える水星です。水星は太陽系の最も内側を公転している惑星です。このため水星は、みかけの位置が太陽から大きく離れることなく、見つけにくい天体の一つです。見つけやすくなる時期は、太陽からのみかけの位置が離れる「最大離角」の前後に限られています。1月12日に水星は西方最大離角を迎えます。この前後は日の出前の南東の低空で見つけやすくなります。熊本における日の出30分前の水星の高度は、3日から10日にかけて10度を超えます。

また、水星の少し空の高い位置に金星があります。金星はとても明るいので、水星を探すときの目印となります。9日、10日には金星と水星の近くに細い月が見え、素晴らしい光景となるでしょう。

中旬を過ぎると水星の位置がどんどん低くなっていきますが、0等級の明るさがあるため、高度が低くても比較的見つけやすいでしょう。夜明け前のほんのり明るい空の中で水星を探すことは簡単ではありませんが、双眼鏡を使うと見つけやすくなるでしょう。双眼鏡を使う時は、すぐ昇ってくる太陽を直接見ないように注意してください。早朝なので観察会は実施しませんが、早起きしたらぜひ水星とともに金星も観察してみてください。



水星が西方最大離角